

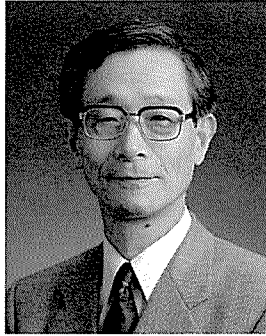


著作目録（細谷昂）

著者	東北大学史料館
号	664
発行年	1998-03
URL	http://hdl.handle.net/10097/00065481

細 谷 昂 教 授 著 作 目 録

平 成 10 年 3 月
東 北 大 学 記 念 資 料 室
(著 作 目 録 第 664 号)



細 谷 昂 教 授 略 歴

生年月日 1934年 8 月28日

学 歴

- | | |
|-----------|---|
| 1941年 4 月 | 山形県師範学校附属国民学校入学 |
| 1942年11月 | 宮城県女子師範学校附属国民学校転入学 |
| 1947年 3 月 | 宮城師範学校女子部附属国民学校卒業 |
| 1947年 4 月 | 宮城師範学校女子部附属中学校入学 |
| 1950年 3 月 | 東北大学宮城師範学校附属中学校卒業 |
| 1950年 4 月 | 宮城県仙台第二高等学校入学 |
| 1953年 3 月 | 宮城県仙台第二高等学校卒業 |
| 1953年 4 月 | 東北大学文学部入学 |
| 1957年 3 月 | 東北大学文学部（社会学専攻）卒業 |
| 1957年 4 月 | 東北大学大学院文学研究科（社会学専攻）修士課程入学 |
| 1959年 3 月 | 東北大学大学院文学研究科（社会学専攻）修士課程修了 |
| 1959年 4 月 | 東北大学大学院文学研究科（社会学専攻）博士課程入学 |
| 1962年 3 月 | 東北大学大学院文学研究科（社会学専攻）博士課程退学
（所定年限在学し所定単位を取得したため） |

職 歴

- | | | |
|-----------|----------------------------------|---------------|
| 1962年 4 月 | 東北福祉大学社会福祉学部講師
（都市農村問題，社会調査法） | （1963年 9 月まで） |
| 1963年10月 | 東北大学講師川内分校（社会学） | |
| 1964年 4 月 | 東北大学講師教養部（社会学） | |
| 1966年 2 月 | 東北大学教養部助教授（社会学） | |

1977年 4 月	東北大学教養部教授（社会学）	（1993年 3 月まで）
1982年 4 月	東北大学評議員併任	（1984年 3 月まで）
1984年 4 月	東北大学評議員併任	（1985年 3 月まで）
1985年 4 月	東北大学教養部長併任	（1987年 3 月まで）
1985年 4 月	東北大学情報処理教育センター長併任	（1987年 3 月まで）
1987年 4 月	東北大学教養部長併任	（1989年 3 月まで）
1987年 4 月	東北大学情報処理教育センター長併任	（1989年 3 月まで）
1993年 4 月	東北大学大学院情報科学研究科（博士課程）教授 （社会構造変動論）	（1998年 3 月まで）
1993年 4 月	東北大学評議員併任	（1995年 3 月まで）
1995年 4 月	東北大学評議員併任	（1997年 3 月まで）
1998年 3 月	（定年退官）	

（併任・非常勤）

1963年度	東北福祉大学社会福祉学部非常勤講師
1964年度	東北福祉大学社会福祉学部非常勤講師
1965年度	東北福祉大学社会福祉学部非常勤講師
1966年度	東北福祉大学社会福祉学部非常勤講師 山梨大学教育学部講師併任
1967年度	東北福祉大学社会福祉学部非常勤講師
1968年度	東北福祉大学社会福祉学部非常勤講師 茨城大学教養部講師併任 金沢大学法文学部講師併任
1969年度	東北福祉大学社会福祉学部非常勤講師 茨城大学教養部講師併任
1970年度	東北福祉大学社会福祉学部非常勤講師 茨城大学人文学部講師併任
1971年度	東北大学大学院文学研究科（博士課程）担当 東北大学農学部講師併任 東北福祉大学社会福祉学部非常勤講師 宮城教育大学教育学部講師併任
1972年度	東北大学医学部講師併任 東北大学農学部講師併任 茨城大学教養部講師併任 宮城教育大学教育学部講師併任
1973年度	東北大学医学部講師併任 茨城大学教養部講師併任
1974年度	東北大学医学部講師併任 茨城大学教養部講師併任 宮城教育大学教育学部講師併任

	千葉大学人文学部講師併任
	福島大教育学部講師併任
1975年度	東北大学医学部講師併任
	東北大学農学部講師併任
	茨城大学教養部講師併任
	東京大学文学部講師併任
1976年度	東北大学医学部講師併任
	東北大学農学部講師併任
	茨城大学人文学部講師併任
1977年度	東北大学医学部講師併任
	東北大学農学部講師併任
	茨城大学人文学部講師併任
1978年度	東北大学大学院文学研究科（博士課程）担当
	東北大学医学部講師併任
	東北大学農学部講師併任
	小樽商科大学商学部講師併任
1979年度	東北大学医学部講師併任
	東北大学農学部講師併任
1980年度	東北大学大学院文学研究科（博士課程）担当
	東北大学医学部講師併任
1981年度	東北大学医学部講師併任
	東北大学農学部講師併任
1982年度	東北大学農学部講師併任
1983年度	東北大学大学院文学研究科（博士課程）担当
	東北大学大学院農学研究科（博士課程）担当（学位論文審査）
	東北大学医学部講師併任
	東北大学農学部講師併任
1984年度	東北大学医学部講師併任
	東北大学農学部講師併任
	福島大学経済学部講師併任
	宮城教育大学教育学部講師併任
1989年度	東北大学大学院文学研究科（博士課程）担当
1990年度	東北大学大学院文学研究科（博士課程）担当
	東北大学経済学部講師併任
	山形大学農学部講師併任
1991年度	東北大学大学院文学研究科（博士課程）担当
	宮城教育大学教育学部講師併任
1992年度	東北大学大学院文学研究科（博士課程）担当
	東北大学経済学部講師併任
	宮城教育大学教育学部講師併任

	福島大学行政社会学部講師併任
1993年度	東北大学大学院文学研究科（博士課程）担当 山形大学人文学部講師併任
1995年度	岩手大学人文社会科学部講師併任
1996年度	神戸大学文学部講師併任 岩手大学大学院教育学研究科（修士課程）担当 東北大学大学院文学研究科（博士課程）担当
1997年度	東北大学大学院文学研究科（博士課程）担当

1994年10月 中国・河北省社会科学院客員研究員

受賞

1963年 第6回城戸浩太郎賞

所属学協会

日本社会学会
（1982～85年・1988～91年・1995～97年理事）

日本村落研究学会（村落社会研究会）
（?～1992年運営委員，1992～93年・1993～95年理事，1997～理事・会長）

東北社会学会
（1995～97年会長，1997～理事・会長）

東北社会学研究会
（1995年～会長）

地域社会学会

日本社会学史学会

日中社会学会
（1996年～理事）

アジア社会研究会

唯物論研究協会

マルクス・エンゲルス研究者の会

日本蝶類学会

日本昆虫協会

著 作 目 録

著 書

- 1 『社会科学への視角——マックス・ウェーバー批判』
 汐文社 1～351ページ 1969年
- 2 『現代社会学と組織論』
 誠信書房 1～306ページ 1970年
- 3 『稲作農業の展開と村落構造』（菅野 正・田原音和と共著）
 御茶の水書房 51～71, 171～196, 253～335, 337～341ページ 1975年
- 4 『マルクス社会理論の研究——視座と方法』
 東京大学出版会 1～309ページ 1979年
 （佐藤 勉・細谷 昂・村中知子編『リーディングス日本の社会学』2
 （社会学思想），東京大学出版会，1997年，に一部収録）
- 5 『東北農民の思想と行動』（菅野 正・田原音和と共著）
 御茶の水書房 403～489, 493～506, 534～765ページ 1984年
- 6 『農民生活における個と集団』
 （小林一穂・秋葉節夫・中島信博・伊藤 勇と共著）
 御茶の水書房 3～13, 15～152, 403～445, 447～454, 517～521, 585～587ページ 1993年
- 7 『沸騰する中国農村』
 （菅野 正・中島信博・小林一穂・藤山嘉夫・不破和彦・牛 鳳 瑞と共著）
 御茶の水書房 3～21, 23～152, 407～415ページ 1997年
- 8 『現代と日本農村社会学』
 東北大学出版会 1998年

論 文

- 1 「マンハイムにおける存在概念の展開」
 『文化』第22巻3号，東北大学文学会 113～127ページ 1958年
- 2 「歴史主義的思考と知識社会学の論理」
 『社会学評論』第36号，日本社会学会 21～32ページ 1959年
- 3 「イデオロギー研究の基礎問題——その分析視点と概念——」
 『社会学研究』第18号，東北社会学研究会 33～47ページ 1960年

- 4 「農民意識理解の一視角 —— イデオロギー論の立場から ——」
『社会学評論』第43・44号, 日本社会学会 115～128ページ 1961年
- 5 「農民意識の変容と停滞
—— その構造的=動的の把握のこころみ ——」上・下
『思想』第457号, 岩波書店 48～69ページ 1962年
第463号, 岩波書店 129～142ページ 1963年
(中野 卓・作田啓一・濱島 朗編『教材社会学』有斐閣, 1968年, に
一部収録)
- 6 「存在と意識 —— 社会意識研究の理論的前提 ——」
『東北福祉大学論叢』第5巻, 東北福祉大学 53～82ページ 1963年
- 7 「体制変革とその主体」
濱嶋 朗編『現代社会学講座』第1巻(体制の社会学), 有斐閣
187～236ページ 1964年
- 8 「『現代』とウェーバーの官僚制論」
『社会学評論』第66号, 日本社会学会 74～100ページ 1966年
- 9 「農民とマス・コミュニケーション」
(田原音和・森 博・五十嵐之雄と共著)
『放送学研究』第14号, 日本放送協会 59～102ページ 1967年
- 10 「稲作農業の新展開と『部落』」
『農業共同組合』第13巻10号, 全国農協中央会 68～81ページ 1967年
- 11 「大学教養課程学生の生活と意見に関する調査報告」(対馬貞夫と共著)
『教養部紀要』第8号, 東北大学教養部 189～301ページ 1968年
- 12 「農民層分解と『いえ』の変容
—— 1965年時点の宮城県古川市高倉地区 ——」
(五十嵐之雄・雪江美久と共著)
『東北福祉大学論叢』第7巻, 東北福祉大学 1～74ページ 1968年
- 13 「水稻集団栽培と『部落』—— 山形県庄内地方の一事例 ——」
『村落社会研究』第4集, 村落社会研究会 155～227ページ 1968年
(安達正恒編『昭和後期農業問題論集』21(村落構造論), 農山漁村文化
協会, 1985年, に収録)
- 14 「社会学的『行為理論』の基本性格
—— M. ウェーバーの『理解』の方法をてがかりとして ——」
『社会学研究』第29号, 東北社会学会 70～94ページ 1968年

- 15 「社会科学の成立根拠の問題をめぐって
——『ウェーバーとマルクス』の一論点——」
『社会科学の方法』第1号, 御茶の水書房 5～11ページ 1968年
- 16 「『ウェーバーもマルクスも』への疑問——林道義さんに答える——」
『社会科学の方法』第6号, 御茶の水書房 12～17ページ 1968年
- 17 「史的唯物論の二, 三のカテゴリーをめぐって」
『社会科学の方法』第18号, 御茶の水書房 12～16ページ 1970年
- 18 「『減反農政』下の農民の対応
——1970年時点の宮城県栗原郡志波姫町——」
(樋口晟子・北村 寧と共著)
『東北福祉大学論叢』第10巻, 東北福祉大学 157～198ページ 1971年
- 19 「マルクス・コメンタール——いわゆる土台・上部構造論を中心に」
『現代の理論』第9巻4号, 現代の理論社 19～46ページ 1972年
(『マルクス・コメンタールⅣ——主要著作の研究的解説——』現代の
理論社, 1972年, に収録)
- 20 「唯物論的社会理論の原点——『独仏年誌』前後——」
『社会学研究』第33号, 東北社会学研究会 1～38ページ 1972年
- 21 「マルクスの『定式』理解をめぐって——秋間実さんに答える」上・下
『社会科学の方法』第37号, 御茶の水書房 11～16ページ
第38号, 御茶の水書房 8～13ページ 1972年
- 22 「農民意識と農村社会の変革」
蓮見音彦編『社会学講座』第4巻(農村社会学), 東京大学出版会
191～218ページ 1973年
- 23 「社会学理論における法——マルクス」
潮見俊隆編『社会学講座』第9巻(法社会学), 東京大学出版会
171～182ページ 1974年
- 24 「社会理論としての『資本論』」
『現代思想』第3巻13号, 青土社 136～143ページ 1975年
- 25 「唯物論的社会概念の端緒の形成
——『経済学・哲学草稿』と『ミル評註』——」
『商学論集』第44巻4号, 福島大学経済学会 33～121ページ 1976年
- 26 「唯物史観への道
——『ドイツ・イデオロギー』までのマルクス・エンゲルス——」
岡田与好・広中俊雄・樋口陽一編『社会科学と諸思想の展開』創文社
83～136ページ 1977年

- 27 「物象化論と社会学」
『社会学研究』第35号，東北社会学研究会 1～24ページ 1977年
- 28 「初期マルクスと『資本論』」
『経済学批判』第4号，社会評論社 49～66ページ 1978年
- 29 「マルクスの社会概念」
『社会学評論』第114号，日本社会学会 44～56ページ 1978年
- 30 「マルクスの人間観」
家坂和之編『現代社会学における人間の問題』学文社 87～103ページ 1979年
- 31 「『都市化』と被震負傷」（佐藤俊昭と共著）
『教養部紀要』第31号，東北大学教養部 77～99ページ 1979年
- 32 「村の性格変化と農業生産組織 —— 集団栽培後の山形県庄内地方 ——」
（小林一穂と共著）
『村落社会研究』第16集，村落社会研究会 251～297ページ 1980年
- 33 「戦後日本の社会状況 —— 日本型『大衆社会』の安定装置 ——」
（元島邦夫と共著）
柴垣和夫・大内秀明編『講座・今日の日本資本主義』第4巻
（日本資本主義の支配構造）大月書店 307～318，325～330ページ 1982年
- 34 「ある『常会日誌』から
—— 山形県飽海郡北平田村大字牧曾根の戦中・戦後 ——」
『社会学研究』第42・43号，東北社会学研究会 1～34ページ 1982年
- 35 「ある東北農村の戦時体制
—— 山形県東田川郡広野村上中村の『常会誌』から ——」
『教養部紀要』第37号，東北大学教養部 115～129ページ 1982年
- 36 「戦時体制と戦後改革 —— ある東北農村の農地改革をめぐる ——」
『社会科学の方法』第163号，御茶の水書房 10～16ページ 1983年
- 37 「マルクス『資本主義的生産に先行する諸形態』における『アジア的形態』について」
『教養部紀要』第41号Ⅱ，東北大学教養部 157～174ページ 1984年
- 38 「大衆社会論と日本型大衆社会」
『社会学研究』第48号，東北社会学研究会 1～19ページ 1985年
- 39 「新明社会学とマルクス，エンゲルス」
『社会学研究』特別号（新明社会学とその周辺），東北社会学研究会
1～15ページ 1985年

- 40 「行為と関係 —— 見失われたマルクスの一視座 ——」
『社会学年報』第14号, 東北社会学会 1～18ページ 1985年
- 41 「地域における地主体制について —— 一つの試論 ——」
望月礼二郎・樋口陽一・安藤次男編『法と法過程 —— 社会諸科学から
のアプローチ』創文社 191～227ページ 1986年
- 42 「農家志向の多様化と村落 —— 80年代半ばの庄内地方 ——」
(小林一穂・秋葉節夫・中島信博・伊藤 勇と共著)
『村落社会研究』第24集, 村落社会研究会 71～118ページ 1988年
- 43 「『市民社会』の相互行為過程論
—— アダム・スミス『道徳感情論』への一試論 ——」
『社会学研究』第57号, 東北社会学研究会 69～89ページ 1991年
- 44 「戦後日本の農地改革はなぜ成功したのか」
『教養部紀要』第58号, 東北大学教養部 27～36ページ 1992年
- 45 「『転換期』農政と家」
『社会学年報』第23号, 東北社会学会 39～61ページ 1994年
- 46 「地主と地域社会 —— 山形県西田川郡京田村土門家父子の軌跡 ——」
安孫子麟編著『日本地主制と近代村落』創風社 171～193ページ 1994年
- 47 「『転換期』における東北農民の家」
『社会学研究』第62号, 東北社会学研究会 49～82ページ 1995年
- 48 「農地改革後の東北農村における家と女性
—— 竹内農村社会学の再評価によせて ——」
『年報村落社会研究』第31号 (家族農業経営における女性の自立) 日本
村落研究学会 55～84ページ 1995年
- 49 「マルクスと近代市民社会」
『岩波講座現代社会学』別巻 (現代社会学の理論と方法), 岩波書店
39～73ページ 1997年
- 50 「将来社会についてのマルクス」
細谷 昂編著『現代社会学とマルクス』アカデミア出版会
13～83ページ 1997年
- 51 「地域リーダーとしての地主
—— 山形県西田川郡京田村土門父子の『履歴書』から ——」
東 敏雄教授退官記念論文編集委員会編『地域社会の歴史と構造』
御茶の水書房 (刊行予定) 1998年

書 評 論 文

- 1 『ウェーバーとマルクス』問題のウェーバー的理解
(内田芳明『ウェーバーとマルクス——日本社会科学の思想構造』
岩波書店)
『社会学評論』第95号, 日本社会学会 70～81ページ 1973年

書 評

- 1 向井利昌著『階級構造の基礎理論』日本評論新社
『図書新聞』第713号, 図書新聞社 1963年
- 2 北川隆吉編『講座現代社会学』I (社会学方法論) 青木書店
『週刊読書人』第580号, 株式会社読書人 1965年
- 3 徳永恂著『社会哲学の復権』せりか書房
『社会学評論』第77号, 日本社会学会 91～98ページ 1969年
- 4 山之内靖著『現代社会の歴史的位相』日本評論社
『エコノミスト』1982年11月30日号, 毎日新聞社 88～89ページ 1982年
- 5 青井和夫編『中国の産業化と地域生活』東京大学出版会
『村落社会研究』第6号, 日本村落研究学会 58～59ページ 1997年
- 6 森 武麿・大門正克編著『地域における戦時と戦後』日本経済評論社
『土地制度史学』第155号, 土地制度史学会 62～63ページ 1997年

概 説 書

- 1 『基礎社会学』(新明正道ほかと共著)
誠信書房 237～252ページ 1961年
- 2 『現代人の社会学』(福 武直ほかと共著)
河出書房新社 261～264ページ 1963年
- 3 『教養社会学』(対馬貞夫ほかと共著)
誠信書房 1～32ページ 1964年
- 4 『社会学』(鈴木幸寿ほかと共著)
誠信書房 120～129ページ 1968年
- 5 『社会学の基礎知識』(塩原 勉ほかと共著)
有斐閣 52, 63, 70ページ 1969年

- 6 『社会学を学ぶ』(佐藤 毅ほかと共編著)
有斐閣 2～25ページ 1970年
- 7 『社会学史』(鈴木幸寿ほかと共著)
学文社 217～242ページ 1972年
- 8 『社会学セミナー4』(社会心理・マスコミュニケーション)
(佐藤毅ほかと共編著)
有斐閣 2～16ページ 1972年
- 9 『現代への社会学的接近』(八木 正と共編著)
アカデミア出版会 7～26ページ 1977年
- 10 『現代の国家と経済』(大内秀明ほかと共著)
有斐閣 72～93ページ 1979年
- 11 『社会学読本』第2版(樺 俊雄ほかと共著)
東洋経済新報社 153～173ページ 1980年
- 12 『古典入門・マルクス経済学・哲学草稿』(畑 孝一ほかと共著)
有斐閣 151～203ページ 1980年
- 13 『現代社会学の視界』(八木 正と共編著)
アカデミア出版会 8～27ページ 1982年
- 14 『社会学の視角』(高橋明善ほかと共編著)
アカデミア出版会 12～34ページ 1983年
- 15 『見える現代——社会学の眼』(樋口晟子ほかと共編著)
アカデミア出版会 8～56ページ 1991年

辞・事典(項目執筆)

- 1 鈴木幸寿ほか編『社会学用語辞典』(全訂版)
学文社 1972年
- 2 濱嶋 朗ほか編『社会学小辞典』
有斐閣 1977年
- 3 岡崎次郎編『現代マルクス＝レーニン主義事典』上・下
社会思想社 1980～81年
- 4 小田清治ほか編『哲学中辞典』
尚学社 1983年

- 5 北川隆吉監修『現代社会学辞典』
有信堂高文社 1984年
- 6 鈴木幸寿ほか監修『社会学用語辞典』（新版）
学文社 1985年
- 7 見田宗介ほか編『社会学事典』
弘文堂 1988年
- 8 森田清美ほか編『新社会学辞典』
有斐閣 1993年
- 9 濱嶋 朗ほか編『社会学小辞典』（新版）
有斐閣 1997年
- 10 マルクス・カテゴリーエン編集委員会編『マルクス・カテゴリーエン』
青木書店 （刊行予定） 1998年
- 11 見田宗介ほか編『社会学文献事典』
弘文堂 （刊行予定） 1998年

そ の 他

- 1 「マンハイムの構造論についてこう考える」
『会報』第6号，東北社会学会 6～8 ページ 1959年
- 2 『東北放送のラジオ・テレビにおける広告果効果測定』
東北放送考査室調査部 1～70ページ 1959年
- 3 『東北農民とマス・コミュニケーション』
(塚本哲人・田原音和・勝又 猛と共著) 21～27, 61～73ページ 1960年
- 4 「階級意識と社会意識 —— そのとらえ方をめぐって ——」
『会報』第13・14合併号，東北社会学会 30～36ページ 1961年
- 5 『第5回福島県における政治意識に関する世論調査結果』
(菅野 正・斎藤吉雄・五十嵐之雄と共著)
福島県選挙管理委員会 79～112ページ 1963年
- 6 「農民にとって現代とは何か」
『現代と思想』第1号，青木書店 193～196ページ 1970年
- 7 「あこのろの講義ノートから」
『新明正道著作集』第6巻・月報2，誠信書房 3～4 ページ 1976年

- 8 『宮城県沖地震災害に関する諸調査の総合的分析と評価』
 (対馬貞夫ほかと共著)
 仙台都市科学研究会 119～141ページ 1979年

- 9 『'78 宮城県沖地震における住民等の対応及び被害の調査研究』
 (対馬貞夫ほかと共著)
 東北大学 '78 宮城県沖地震調査研究会 29～32ページ 1980年

- 10 「酒田農業の近代史 —— 明治維新から戦後まで ——」
 『酒田市農業委員会史』酒田市農業委員会 17～43ページ 1985年

- 11 「時代をリードしてきた中野曾根」
 中野曾根部落史編集委員会『中野曾根の部落史』中野曾根部落会
 122～127ページ 1987年

- 12 「庄内の村と人々 —— 歴史から学ぶもの ——」
 『地域経済セミナー会報』第13号, 山形大学農学部農業経済研究室
 1～12ページ 1991年

- 13 「庄内調査のこと」
 『田原音和氏を偲ぶ』藤原書店 2～3ページ 1993年

- 14 「解説」
 蓮見音彦編『島崎稔・美代子著作集』第2巻
 (日本農村社会の構造と論理), 時潮社 I～XI ページ 1994年

- 15 「『社会学研究』の歩みよせて」
 『新明社会学研究』第6号, 新明社会学研究会 87～89ページ 1996年

- 16 「酒田農業の現代史 —— 農地改革から1990年代まで ——」
 『酒田市農業委員会史(二)』酒田市農業委員会 7～20ページ 1996年

- 17 「庄内の村と人びと」第1回～317回(菅野 正・田原音和と共同執筆)
 『荘内日報』荘内日報社
 1986年1月26日～1994年1月19日 1986～94年

(放送による東北大学開放講座テキスト・東北大学教育学部)

- 1 『地域の科学』(大内秀明ほかと共著) 3～14, 63～70ページ 1977年
- 2 『地震災害と市民生活』(佐々木嘉彦ほかと共著) 119～126ページ 1979年
- 3 『人と国家と社会と——宮城経済近代化のダイナミックス——』
(嶋田 隆ほかと共著) 117～129ページ 1986年
- 4 『日本のなかの外国風景』(小田 基ほかと共著) 107～115ページ 1990年

学会報告

日本社会学会

- 1 「イデオロギー論の一視点」 第31回大会 1958年
- 2 「イデオロギー研究における機能分析の問題」 第32回大会 1959年
- 3 「東北農民の営農意識に関する一分析」
(塚本哲人・田原音和・藤井 黎・勝又 猛・関崎信一郎と共同報告)
第33回大会 1960年
- 4 「労働組合とホワイト・カラーの意識構造」
(小山陽一・松本和良・佐藤 勉・八木 正・高橋勇悦・樋口晟子・
佐藤嘉一と共同報告) 第33回大会 1960年
- 5 「東北農村と新機能集団」
(竹内利美・斎藤吉雄・小山陽一・佐々木徹郎・菅野 正・田原音和・
勝又 猛・江馬成也・森 博・佐藤 勉・塚本哲人と共同報告)
第34回大会 1961年
- 6 「東北農村における政治意識と投票行動」
(菅野 正・斎藤吉雄・五十嵐之雄と共同報告) 第35回大会 1962年
- 7 「組織・運動研究における若干の問題」 第36回大会 1963年
- 8 「『初期マルクス』における『疎外』論について」 第44回大会 1971年
- 9 「マルクス社会理論の歴史的方法」 第45回大会 1972年
- 10 「マルクスの社会概念——『ドイツのみじめさ』からの視座」
(テーマ部会『『社会的なもの』の論理——マルクス・デュルケム・パー
ソンズ——』) 第50回大会 1977年
- 11 「東北農村における戦時体制と戦後改革」
(テーマ部会「戦後改革と戦後社会意識——現段階の視点から——」)
第57回大会 1984年
- 12 「農民生活における個と集団」
(小林一穂・秋葉節夫・中島信博・伊藤 勇と共同報告) 第58回大会 1985年
- 13 「農村家族の変容と農村女性——山形県庄内地方の事例——」
(加藤真義・小松田儀貞・菅野 仁・永野由起子と共同報告)
第64回大会 1991年

- 14 「沸騰する中国農村 —— 1990年代前期の河北省辛集市新垌頭郷 ——」
 (菅野 正・藤山嘉夫・小林一穂・不和和彦・中島信博・牛 鳳 瑞・
 劉 文 静と共同報告) 第68回大会 1995年
- 15 「将来社会についてのマルクス」 第69回大会 1996年

日本村落研究学会（村落社会研究会）

- 1 「農民組織と農民意識
 —— 山形県庄内平野北平田に関する社会学的研究 ——」
 (塚本哲人・佐藤 勉・北森義明・舛田忠雄と共同報告) 第 9 回大会 1961年
- 2 「稲作農業の展開と村落構造
 —— 山形県西田川郡旧京田村林崎の事例 ——」
 (菅野 正・田原音和と共同報告) 第19回大会 1971年
- 3 「戦時体制下の村と土地問題 —— 山形県庄内地方の事例 ——」
 (課題報告「土地利用秩序と村落の土地管理機能」) 第33回大会 1985年
- 4 「庄内農業の近況」
 (中島信博・小林一穂・秋葉節夫・伊藤 勇と共同報告) 第35回大会 1987年
- 5 「農地改革後の東北農村における家と女性
 —— 竹内農村社会学の再評価によせて ——」 第42回大会 1994年

東北社会学会

- 1 「現代社会の危機と選良階層の危機
 —— カール・マンハイムの場合 ——」 第 4 回大会 1957年
- 2 「東北における産業都市の存在形態
 —— 岩手県釜石市調査中間報告 ——」
 (田野崎昭夫・鈴木 広・吉田 裕・小山陽一と共同報告) 第 5 回大会 1958年
- 3 「社会意識とシンボル操作 —— 階級関係動態の一側面 ——」
 (課題報告「資本主義体制と階級関係の動態」) 第 8 回大会 1961年
- 4 「戦後における農民の社会的性格」
 (課題報告「戦後における農民の社会的性格」) 第11回大会 1964年
- 5 「『理解』の方法について —— 社会学における『行為的見地』検討の
 手がかりとして ——」 第14回大会 1967年

- 6 「労働組織と村落 —— 山形県庄内地方の事例 ——」
(課題報告「生産組織の展開と村落構造」) 第23回大会 1976年
- 7 「行為, 関係, 言語 —— マルクスの言語論への視座 ——」
(課題報告「言語とコミュニケーション
—— 知の最前線からの報告 ——」) 第31回大会 1984年
- 8 「『転換期』農政と家・村理論」
(課題報告「現代日本農村社会における『家』と『村』」) 第40回大会 1993年

関東社会学会

- 1 「日本社会学の回顧と展望」
(シンポジウム報告) 第14回大会 1966年

日本社会心理学会

- 1 「農村居住者の意識とパーソナリティをめぐって」
(シンポジウム報告) 第5回大会 1964年

日本民族衛生学会

- 1 「社会学からみた地域性」
(課題講演「地域性に係る諸問題」) 第48回大会 1973年

International Rural Sociology Association

- 1 Why did the Land Reform of Post War Japan Succeed?: Historical Background.
(Session: Land Reform and Sustainability of Small Farming in Agricultural Modernization: Japanese Experiences)
The 8th World Congress for Rural Sociology, 1992.
The Pennsylvania State University, U.S.A.
- 2 The Stem Family System and Sustainability of Family Farms in Japan.
(Session: The Crisis of Family Farms and the Feasibility of Sustainable Rural Development with Globalized Economy: Japan's Experiences)
The 9th World Congress of Rural Sociology, 1996.
University of Bucharest, Romania.

